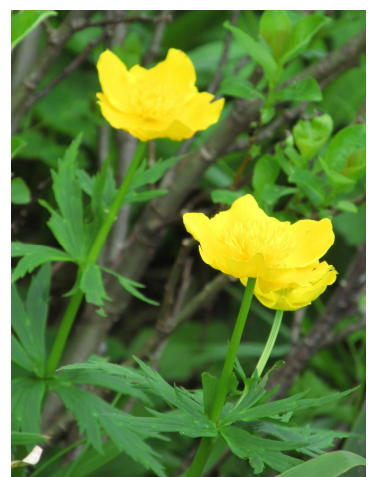




2024. 8 No.101

- ・山地災害の未然防止について（治山課）
- ・雨竜町との森林整備協定による森林整備推進の取組（空知森林管理署北空知支署）
- ・こんにちは森林官です！（養老牛森林事務所）
- ・センター通信（石狩地域森林ふれあい推進センター）



林野庁



北海道森林管理局

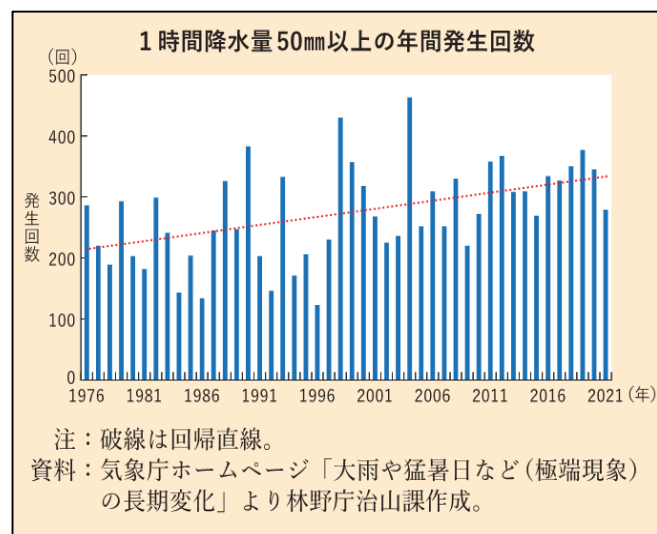
山地災害の未然防止について

北海道森林管理局は、山地災害危険地区等の緊要度の高いエリアにおける森林の防災機能を発揮させる治山施設の整備を推進します

計画保全部治山課

【近年の気候変動と山地災害】

近年の気候変動によって、降水形態が変化し、山地災害を誘発するような降水が全国各地で発生しています。気象庁のデータによると、1時間降水量50mm以上の短時間強雨の平均年間発生回数は年々増加しており、線状降水帯の発生も伴い、山地災害は広域で同時多発的に発生するケースが頻発しています。



【山地災害における対策】

このような気候変動に対処するため、林野庁では、山腹の崩壊と崩壊土砂の流出、地すべりなどにより、人家や公共施設等に直接被害を与えるおそれがある地区の調査を行い、山地災害危険地区に指定しています。

また、関係機関と連携した巡視・点検を徹底するとともに、関係市町村を通じて、これら危険箇所の住民等への周知等を行うこととしています。

北海道森林管理局においては、緊要度の高い山地災害危険地区を主体に豪雨・地すべり・流木等による被害を最小限にとどめ、地域の安全性を向上させる治山事業を実施しています。

令和5年度における山地災害危険地区で実施した主な治山事業は次のとおりです。



もしりにさわ 1. 茂志利二の沢治山工事

- 実施署 上川北部森林管理署
- 場 所 しべつしあさひちょうもしり 士別市朝日町茂志利
- 判 定 崩壊土砂流出危険地区 A
- 工事概要 治山ダム及び流木捕捉工
- 工事目的

当該箇所は、士別市の南西部に位置する一級河川天塩川の支流で過去の降雨等で大きな被害は受けてはいませんが、下流域には民家や道道などがあり、豪雨が発生するとこれらの施設に被害を与える恐れがあることから、土砂とともに流下する流木を捕捉する流木捕捉工を設置して土砂流出及び流木を予防し、被害防止を図りました。



施工中 流木捕捉工の基礎部分を建設

(茂志利二の沢)



施工前 豪雨により崩壊した山腹の状況

(登別温泉地区)



施工後 治山ダム(手前)と流木捕捉工(奥)

(茂志利二の沢)



施工後 自然景観に配慮した山腹工

(登別温泉地区)

2. 登別温泉地区治山工事

- 実施署 後志森林管理署
- 場 所 登別市登別温泉町
- 判 定 急傾斜地崩壊危険地区 A
- 工事概要 山腹工 5.39ヘクタール
- 工事目的

当該箇所は、北海道有数の観光地である登別市温泉街の宿泊施設の裏にあり、一帯の山腹斜面は、急傾斜地崩壊危険地区に指定されていて、土砂災害の危険が高い地区です。平成28年8月に北海道へ上陸した台風災害により山腹崩壊が発生し、下流部に土砂が流出する被害がありました。

復旧工事を行うに当たり、施工地が支笏洞爺国立公園内にあることから、特に景観に配慮した施工内容として、樹木の伐採を伴わない山腹工を計画し、防災機能の向上と自然景観の保全を図るとともに、地域住民と観光客の安全と安心を確保しています。



保全対象である登別市温泉町の旅館ホテル街

【山地災害対策の推進について】

山地災害危険地区は、令和6年度より再点検を実施し、令和8年度には関係機関等に通知するとともに局ホームページにおいて公表することとしています。

今後も関係機関と連携して、地域における山地災害による被害を防止・軽減する対策を推進して参ります。

地域課題の解決に向けた取組

雨竜町との森林整備協定による 森林整備推進の取組

空知森林管理署・北空知支署

【はじめに】

空知森林管理署北空知支署は、深川市、沼田町、北竜町、雨竜町及び所在する幌加内町の国有林約6.7万ヘクタールを管理しています。

管内には、北空知流域の水がめとして重要な森林や雨竜沼湿原等の貴重な自然環境と朱鞠内湖などのレクリエーションエリアがあります。

【地域の森林の状況・課題】

北空知流域の市町では、市町有林の面積が少ないため、集約化した森林整備を行うことが難しく、また、これまで国有林と連携した取組も行われていませんでした。

特に、雨竜町（桂の沢地域）には、間伐などの森林整備を要する町有林（19.50ha）があるにも関わらず、既設の作業道が急傾斜なため、伐採してもその伐採木をトラックで運べないといったことから間伐が進まず、林内は混み合い林冠が閉塞したままとなっていました。



部分傾斜が15度以上で車両の登坂が難しい雨竜町の既設作業

また、隣接する国有林の奥地にも、複雑な地形と脆弱な土壌により、山腹部に路網が作設できないため、間伐が行われない人工林がありました。

このように、町有林・国有林ともに路網に関する課題があり、間伐などの森林整備が進まない状況が続いていました。

【地域課題に対する取組】

こうした中、雨竜町から「国有林と隣接する町有林整備のため国有林内に作業道を作設したい。」といった相談があり、その実現に向けた取組を始めました。

現地踏査や打合せを重ね、路網の相互利用など、双方のメリットを確認した上で、令和6年4月に課題解決に向けての取組の第一歩として「雨竜町桂の沢地域森林整備推進協定」を締結しました。



現地踏査による作設路線の検討



白川雨竜町長と佐々木支署長による協定締結式

【協定締結による相乗効果】

作業道の作設工事は来年度以降となりますが、相互利用できる路網整備が実現されれば、町有林の森林整備が進むとともに、木材の円滑な搬出が可能となります。

また、町の作業道から国有林へのアクセスも可能となれば、地盤が安定している脊梁部分を利用した路網ルートを選択が可能となり、より奥地の森林整備にも結び付けられることとなります。

【今後の地域林業を展望する】

北空知支署として初めて森林整備協定を締結しましたが、現在、幌加内町とも「長留内ほろたち線森林整備協定」を締結するための準備を進めています。これからも、地域の抱える現状や課題を共有して、民国一体となった森林づくりを目指したいと考えています。

こんにちは 森林官です！

根釧東部森林管理署 養老牛森林事務所

森林官 今野 恵介



【地域の紹介】

私の担当している養老牛森林事務所と西春別森林事務所が所在する中標津町は、北部は山岳地域、南部は平坦な根釧原野が広がっています。

この中標津町は、特別天然記念物のタンチョウが飛来する町でもあり、鳥類を研究する学者になることが夢だった私にとっては、生涯忘れられない貴重な経験をさせていただいていると思い、日々過ごしています。

【格子状防風林】

当署には中標津町、別海町、標津町に広がる広大な格子状防風林があり、平成13年度に、次世代に引き継ぎたい北海道ならではの宝として「北海道遺産」に選定されています。農地、道路、人家等に隣接していることから、防風林での森林施業を計画的に実施して適切に管理することにより、防風、防霧、地吹雪などに対する効果が発揮され、地域に暮らす人々の生活を守ることができます。



【森林事務所の紹介】

私の担当する養老牛森林事務所と西春別森林事務所の二つの管轄面積を合わせると約1万7千ヘクタールとなります。養老牛では中標津町、西春別では中標津町と別海町を管理しています。

今年度、管轄する区域においては、森林の伐採事業を約138ヘクタール実施する予定です。森林の健全な育成整備により、公益的機能が高度に発揮されるよう計画的に事業を進めています。

また、養老牛管内には、「希少個体群保護林」を設定しています。「希少個体群保護林」は、希少な野生動植物の生息場所であることから、生息環境の保全に配慮した事業を実施しています。

その他、森林の調査、林道の点検、境界の管理や巡視、請負事業の監督等を実施しています。



【熊に会わないために】

ここ数年、現場で頻繁に熊の出没情報があり、私は、尊敬する職場の先輩が山の中で熊に会わないようにするためにアニメソングを歌っていることを聞き、つい先日「スラムダンク」の主題歌の「あなただけ見つめてる」を全力で歌って熊対策を実施してみました（効果があるようです）。

【最後に】

これからも大切な自然と森林を後世に残していくため、現場の最前線で森林事務所職員が一丸となって日々の業務に取り組みたいと思います。



石狩地域森林ふれあい推進センターでは、小・中学生を対象とした森林教室や台風被害跡地における森林再生に向けた取組などを行っています。今回は昨年度実施した取組のうち、いくつかを紹介します。

【森林教室】

○第1回森林教室（5月実施）（定山溪小・中学校）

「身近な自然を観察しよう・保護しよう」と題して、定山溪の三笠緑地にある国有林で小学生・中学生合同で植生の開花調査を行いました。

この開花調査は環境保全活動の一環として平成25年から継続して実施しています。



○第2回森林教室（6月実施）（定山溪小学校）

「森の中で新発見！森の生きもの観察・森の循環」と題して、森林の中を歩きながらクマゲラの採餌跡、エゾシカの食痕、キノコなどを発見し、森の生きものを観察しました。また、針葉樹の幼樹や腐朽菌によって腐朽が進む大木などを観察し、森の循環についても学びました。



○第3・4・5回森林教室（定山溪中学校）

生徒が描く『夢の森づくり』として、中学校が森林環境学習の場としている「夢の森」の整備等を通じて様々な体験をしています。

第3回（7月実施）は、植栽箇所の下草刈り、広場や遊歩道の不要な樹木の伐採、カミネッコンを用いてポット苗の作製と植栽を実施しました。

第4回（9月実施）は、日時計の補修、樹名板・巣箱の設置、ヤナギの挿し木、シイタケほだ木の観察を実施しました。また、生徒からの要望を踏まえて設置した「夢の森ブランコ」に乗った際は、森の風や香りを体験できたことでしょう。



第5回目（2月実施）は、冬季の森林教室開催の要望を受け、雪中でスノーシューを履いて「夢の森」を散策しながら、動物の痕跡や野鳥観察する森林教室を実施しました。



雪中での樹木観察の様子

○森づくり活動発表会（定山溪中学校）

中学生が、環境学習、森林保全、自然とのふれあい・観察等の活動実績を紹介する「森づくり活動発表会」を定山溪中学校で開催しています。

令和5年度は「Let's grow with the forest.」と題して、令和5年度に実施した「夢の森」での活動内容等の報告、「夢の森」の将来像等についてのディスカッションを行いました。



「夢の森」の将来像についてディスカッション

【野幌森林再生プロジェクト】

平成16年の台風18号の被害跡地にボランティア団体が植栽・保育等、森林再生に向けた取組を行っています。その自然再生プロジェクトの一つ「野幌森林づくり塾」は、植栽等の森林づくりを体験しながら、森林づくりに関する知識を習得し、

将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待した取組です。

令和5年度は16名の応募があり、5月は「森林と水について」と題して、札幌市水道記念館において森から水道水が届くまでを学び、6月は野幌自然休養林内に侵入してきた特別外来生物「オオハングソウ」の除去作業を実施し、10月は「藻岩山きのこと観察会」主催による「きのこ展示・鑑定会」の見学を行いました。

【札幌水源の森づくり】

札幌市の「水源の森」である定山溪の森林の重要性や水と森林のかかわりを普及啓発するため、市民参加によるポット苗木づくり、協力団体による定山溪国有林で植栽や下刈りを行っています。

18回目となる「札幌水源の森づくり2023」（創成川公園で開催）は、市民約200名にポット苗木を作成していただき、ボランティアの方々とともに国有林へ植栽することができました。



市民の皆さんが作った苗木ポット

【おわりに】

引き続き、森林環境学習の支援、野幌の森林再生、定山溪の水源となる森林の重要性の普及などについて、市民の皆さんに楽しんでもらいながら、取り組んでいきたいと考えています。

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

平取町アイヌ共用林野 設定契約締結式



【日高北部森林管理署】

7月1日に、平取町役場において、アイヌ共用林野の設定に係る契約締結式が開催され、平取町長と日高北部森林管理署長との間で契約書が交わされました。締結式には、平取町議会議長、平取アイヌ協会副会長、平取町アイヌ文化保存会会長らが同席しました。共用林野とは、国が森林経営をする国有林野について、地元住民が共同して使用又は収益する権利を設定し、同一の国有林野を、国と地元住民が共に利用する制度です。



バットの森づくり植樹 祭が開催されました



【胆振東部森林管理署】

7月6日に、苫小牧市内の胆振東部森林管理署国有林において、NPO法人アオダモ資源育成の会が主催する「バットの森づくり植樹祭」が開催されました。同会は、2002年より道内各地の国有林、道有林、町有林等でアオダモの植樹活動を行っています。この日は、元日本ハムファイターズの杉谷拳士さん、北海道栄高校野球部員、地元少年野球チーム苫小牧新生台イーグルスなど140名により、アオダモの苗木200本が植樹されました。



カルチャーナイト 2024in北海道森林 管理局



【北海道森林管理局】

7月19日に、認定NPO法人カルチャーナイト北海道の主催による「カルチャーナイト2024」が開催され、北海道森林管理局もイベントに参加しました。「カルチャーナイト」とは、北欧発祥の行事で公共・文化施設、企業施設を一日だけ特別に夜間開放するほか、地域文化を楽しく学べる動画コンテンツを配信するイベントです。札幌市内でも今年で22年を迎え、北海道森林管理局の参加は14回目となりました。



陸別小学校で森林教 室を開催



【十勝東部森林管理署】

7月10日に、陸別小学校の「総合的な学習の時間」の一環として、十勝東部森林管理署と陸別町で締結している国民参加の森づくり活動に関する協定（ふれあいの森）「憩いの空間 水源の森」において、森林教室を開催しました。小学4年生の児童16名と教員2名、陸別町役場職員2名、当署職員16名が参加し、遊歩道を散策しながら樹木の名前を当てるクイズや節のない上質な木を育てるための「枝打ち」作業を体験してもらいました。



広報 「北の森林 国有林」 8月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



【今月の花 シナノキンバイ】

今月はシナノキンバイの写真を表紙右下に掲載しました。花言葉は「恋、呪い」です。

道内各地の高山などで見頃となっているようです。登山の際には、楽しむことができそうですね。



今月の表紙